

平成 29 年度 提案型協働事業 企画提案

(H29.6.1)

順位	団体名	提案種類	事業名	提案内容
1	<p>・☆Mady's Land☆ ・NPO 法人 YOU-I (共同提案)</p>	市民提案	<p>国境なき「子育て支援団」 ～多様な全市民へのサービスを 目指して～</p>	<p>核家族の多い市内で、地域との繋がることが難しく孤立しがちな、第 1 子を妊娠・子育て中の家族に向けた親支援プログラム（BP プログラム）を実施。“妊娠期から切れ目ない支援”の一環として、生後 2 ～ 5 か月の第 1 子を育てている母子を対象とした BP プログラムを行政関係課の協力により開催する。これまでも市内で当プログラムは開催してきたが、外国人市民に対するアプローチはしておらず、今回多言語対応により、外国人市民への支援も行う。NPO 法人 YOU-I との協働により、チラシや HP 等での周知の際に、外国語での翻訳、プログラム参加者に対する通訳をしてもらい、子育てする外国人市民の家庭へ支援を広げる。プログラム終了後には参加者家族をはじめ、外国人市民の子育て家庭、その他市民が集える交流イベントを開催し、繋がるきっかけとなる場をつくる。</p>
2	ママココ実行委員会	行政提案	<p>CoCo ARC (ココアーク) イベントの企画運営</p> <p>[行政提案：「学びの杜のいち カレード」オープン企画（新図書館を盛り上げる企画）]</p>	<p>「学びの杜のいち カレード」で、地域の人と人を繋げるきっかけとして、MamaCoCo のコミュニティ・人脈・経験を活用し、人と人を繋ぐ架け橋となるようなイベントを企画する。 「ココちよく、つながろう」をコンセプトに、世代を超えて楽しさや喜びを共有できる、音楽や芸術のワークショップを中心とし、自然な流れで、出店参画者同士、イベント参加者同士はもちろん、出店者とイベント参加者が繋がっていく。 今回は新しく、野々市で活動している団体や、金沢工業大学の学生など、野々市の市民を巻き込むことで、地域の活性化に繋がると期待している。</p>
3	TOMITO	市民提案	TOMICHE	<p>富奥地区の様々な世代が集まり、体験や販売を通して住民や学生が交流を行う。富奥地区の拠点となっている富奥防災コミュニティセンターや野々市市南部の活性を目指し、市内の団体が協力し、地域の住民や団体を巻き込み野々市らしさ・富奥らしさを意識したイベントを開催する。〈予定ブース〉金沢工大 Toiro Project：会場の空間づくり、クラフト体験 /金沢工大ヤーコンプロジェクト：ヤーコンの葉を生地に練りこんだクレープ販売 /石川県立大いしるサークル：いしるを使った料理 /石川県立大学生援農隊あぐり：ブルーベリーの収穫、ジャムづくり体験 /野々市生活学校：おにぎりの無料配布 /県立翠星高校食品科学研究会：ヤーコンジェラートの販売</p>

順位	団体名	提案種類	事業名	提案内容
4	ブックスタートボランティア 紙芝居製作委員会	市民提案	「ののいち元気家族 3 か条」 紙芝居製作	「ののいち元気家族 3 か条」をブックスタートボランティアに活用しやすい紙芝居にして、啓発活動に利用し、新図書館に寄贈して一般貸出も可能にしていく。内容は、DVD「のっティ家族の一日」の紙芝居版。新図書館、市内保育園、子育て支援センター菅原に寄贈。また、新図書館の読み聞かせコーナーを利用して、定期的に活用できるような提案をする。保育園の「なかよしの日」に読み聞かせを実施して、家庭教育の推進を図る。
5	ヤーコンプロジェクト	行政提案	旧北国街道ヤーコンカフェ開催 で冬場の賑わい創出 [行政提案：旧北国街道（本町通り）の賑わい創出]	ヤーコンを用いた加工健康食品を提供するカフェやヨガ教室、朗読会・講演会を旧北国街道で開設し、健康文化の街道としての賑わいを創出する。 カフェや朗読会で提供するための加工食品を試作する。郷土資料館内の六日町かふえと協力して試食会を開催。郷土資料館や照臺寺、喜多家住宅での朗読会、ヨガ教室も開催。健康と文化のイベントを定期的で開催し、賑わいを創出することで、旧北国街道と健康野菜ヤーコン両者の知名度向上を図る。試食会のほか、健康推進活動としてラフターヨガを開催。また、朗読小屋浅野川倶楽部に働きかけ、地域文化の継承にも貢献する形での朗読講演会を開催し、賑わい創出につなげる活動を行う。
6	はなともこショー会	市民提案	未来人たちの“こころの杜” づくり デジタル紙芝居	「学びの杜ののいち カレード」のオープンの年をスタートとして、おせっかいおばちゃんたちが、「デジタル紙芝居」を通して、学生と子どもの交流の場を作っていく。紙芝居のテーマは、「椿十徳」。思いやりと感謝、ありがとうがあふれる町として作り上げる。子どもたちは今「知らない人と話してはいけない」と言われ、地域社会で育てていく場面が少ない。かつて町内の子ども会は、上級生が下級生の世話をする縦割りで運営され、お兄さん、お姉さんについていく温かい空間があった。なお、デジタル紙芝居の作成にあたり、金沢工業大学の学生の技術協力を申し入れている。上演は市内各地で実施予定。○町内の子ども会の集会等に数回上演、○新図書館のほか公共施設でのイベント開催